

水戸啓明高校

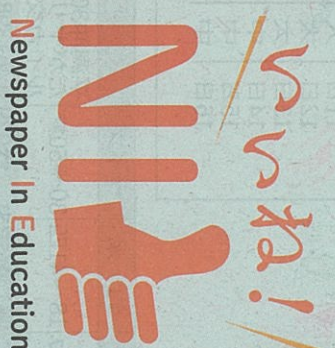
藤原博之教諭

菊地仁志教諭



「言語学習に新聞は欠かせない教材。理科系でNIEを実践する他校の先生と意見交換したいですね」と話す藤原博之教諭(右)と、新聞社の出前授業を活用してSDGs(持続可能な開発目標)を知る授業を行い、「世界の課題がギョウッ」と語らせた菊地仁志教諭=水戸市の水戸啓明高校

「朝活」で書き写し



「上面コラムの書き写しや記事の精読を続けた結果、生徒の文章力が向上した」とNIEの学習効果を強調します。2人は理科の教員で、司書教諭の資格を持ち、昨年度までにサイエンスフロンティアコースでNIEを実践。「理科系でも効果は絶大。新聞学習は、あらゆる分野の理解力に通じます」と指摘します。

2人は2018年度と19年度に、日本新聞協会からNIE実践指定校の藤原博之教諭と菊地仁志教諭は啓明高校(水戸市・甲中睡校長)用するNIEに力を入れている水戸5年ほど前から、教育に新聞を活用するNIEに力を入れている水戸

活用演習 文章力、基礎学力が向上



土曜日の朝は、学校図書館で新聞を精読

「1面コラムの書き写しや記事の精読を続けた結果、生徒の文章力が向上した」とNIEの学習効果を強調します。2人は理科の教員で、司書教諭の資格を持ち、昨年度までにサイエンスフロンティアコースでNIEを実践。「理科系でも効果は絶大。新聞学習は、あらゆる分野の理解力に通じます」と指摘します。

2人が続けてきた新聞活用演習の柱は、1面コラムの書き写しと、新聞の精読です。コラム書き写しは、平日毎朝8時から30分間、「朝活」として実施。タイトルを考え、要約と意見を書き添えます。担当教員がプリントを配り、当中に添削される科学的検定でも合格率93%と、前年比17ポイント上昇の結果を残しました。

「新たな大学入學共通テストでは、全教科で長文を読み、理解し、考え、解決する力が求められています。今後、学習効果を検証しながらNIEを推進していきたいです」と2人は抱負を語ります。(今回は5月28日掲載)

水戸啓明高校 ☎029(241)1573、フアクラス029(243)9484、Eメールinfo@mito-keimei.ed.jp

学校で、家庭で、地域で、会社で、しんかつしよう!!

NIE (Newspaper in Education) は、学校などで新聞を教材として活用し、子どもたちの読解力や思考力・判断力・表現力を育てる運動です。「教育に新聞を」と訳され、教育界と新聞界が協力して推進しています。近年は、社員・職員研修に新聞のノウハウを生かすNIB (Newspaper in Business = ビジネスに新聞

を)の試みも、全国的に広がっています。「新聞活用=しんかつ」を応援するため、新城新聞社は、社員が学校や会社に出向いて、新聞の活用方法を解説する出前授業を行っています。茨城新聞を学校教材でご活用の場合は、学校教材用価格1部40円でご購入いただけます。過去の記事が検索できるデータベース

(税抜月額4000円から)もご利用いただけます。ウェブサイトをフアクラスページでも情報発信中です。お問い合わせは茨城新聞社NIE事務局 ☎029(239)3004、フアクラス029(301)0361まで。フェイスブックページは、QRコードからアクセスできます。



NIE・NIBのページ事務局メールアドレス chikikirenkei@ibaraki-np.co.jp